

2013年2月議会 終わる

日本共産党と
市民の運動で

保育料の値上げをストップ

予算の修正で保育料値上げを撤回

河村市長が提案した保育料の値上げを含む、ムダ使い推進・市民犠牲押しつけの予算に対し、日本共産党名古屋市議団は、組み替え動議を提出、自民・公明・民主・新政会は保育料値上げ撤回だけの修正案を提出。採決の結果、修正案が可決。保育料値上げはストップしました。

ムダ放置・市民犠牲容認の修正案

修正案の内容は「保育料の値上げ撤回だけ」です。反対討論に立った山口議員は「保育料の値上げを撤回させることに私たちは何の異論もなく、保育料の値上げ撤回には大賛成です。しかし、修正案はそれだけです。『減税しながら保育料を値上げするのはけしからん』と議論しながら、修正案では、市民税減税そのものには指一本触れていません。修正案は、減税が福祉や市民サービスカットの元凶だと言いながら、肝心かなめの河村減税を容認するものです。この修正案へ賛成することは、修正部分以外は原案にすべて賛成、減税や他にもある福祉や市民サービスのカットも認めることとなります。だからこの修正案には賛成できません。もし、4党派のみなさんがほんとうにいまの減税が市民サービスのカットをもたらす張本人だと考えるのなら、正面から堂々と市民税減税を中止して福祉や保育の財源を生み出すことを提案すべきです」と修正案と原案に反対しました。



河村予算と修正案の問題点を指摘する山口議員。左は市長

日本共産党は抜本的組み換えを要求

日本共産党は、市民税減税を中止して福祉や保育の財源を生み出す等の「組み替え案」提案しました。

4党修正案に対し、減税日本は、市長が提案した予算なのに「予算案には（予算化しただけで実際には支払われない）議員報酬6億円のムダがある。なぜそれを使わない」と、別の財源はあるが保育料の値上げは当然と、修正案に反対。

保育料凍結に市長が「拒否権（再議）」

3月28日・29日に臨時会

予算修正で自公民新4党は、保育料を据え置くための財源として、法人市民税の収入見込みを増やしました。これにたいして河村市長は、税収増の積算根拠が不明で、地方財政法第3条に違反すると主張し、法令に違反するときは再議に付すという地方自治法176条4項にもとづいて拒否権を発動。3月28日と29日に臨時市議会を開き、再議について審議することになりました。

再議は修正部分のみについての賛否が問われます。保育料の凍結を求める市民の声をすなおに受け入れない市長の態度に批判が広がっています。

2月議会における予算と修正案への態度（3月22日）
○：賛成 ●：反対

主な議案名	結果	各党の態度						
		共	自	減	公	民	新	諸
大企業と富裕層を優遇し庶民に負担を押し付け、サービス後退の予算案	可決	●	○	○	○	○	○	○
減税を中止、保育料や国保料の値上げ凍結、暮らし優先の予算に組み替える動議	否決	○	●	●	●	●	●	●
金持ち減税やムダはそのままに、保育料値上げ撤回だけを修正した予算修正案	可決	●	○	●	○	○	○	○

党派名 共：日本共産党 自：自民党 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党 民：民主党 新：新政会 諸：諸派（既得権打破の会、市民改革会、地方分権改革会、無所属クラブ）

3月28日臨時議会

午後4時開会

*市長の再議について
田口かずと議員が
質問します

